

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月29日
2次評価日（課長等）	31年3月29日

1 事業名	ラオカヤ施設管理事業			コード	21206	
2 担当部課	部等	産業振興部	課等	商業観光課	作成者	大槻 三男
3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち			
		政策	産業の振興	施策	商業の振興	
		予算科目	岡谷駅前再開発ビル管理事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市ララチャレンジ広場設置要綱			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要 （簡潔に）	施設の維持管理	
目的	対象者	施設利用者
	意図	利用者が安全・快適に施設を利用できるよう適切な維持管理を行う。

5 施設の管理運営状況			
指定管理者		30年度指定管理料	円
施設における 通常業務	ラオカヤ管理組合事務局業務及び市保有床の賃貸借		
事業の実施内容	<p style="color: red;">(30年度に施設で行った運営事業・自主事業など)</p> 施設維持管理業務（管理組合事務局） チャレンジ広場の管理運営をNPO法人維新塾へ委託 チャレンジ広場（レンタルボックス、イベント広場）活用の推進 テナント使用料、チャレンジ広場使用料等の徴収		
前年度の課題 への対応	駅前地区のあり方を総合的に検討する（継続中）		

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	352	352	352	353
1日の開設時間（時間）	9	9	9	9
年間利用可能時間（時間）	3,168	3,168	3,168	3,177
年間利用実績（時間）	3,168	3,168	3,168	
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	1,858	2,082	1,962	0
有料利用件数	1,842	2,066	1,936	
無料利用件数	0	0	0	
減免措置件数	16	16	26	
④ 1日あたり利用者数、件数	5.3	5.9	5.6	0.0
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	56,123,798	55,254,028	58,581,806	58,992,000
経常経費	56,123,798	55,254,028	58,581,806	58,992,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000
正規職員の人数(人)	0.76	0.76	0.76	0.76
③ 合計コスト(①+②)	62,203,798	61,334,028	64,661,806	65,072,000
前年度比		98.6%	105.4%	100.6%
財源内訳				
一般財源	45,328,336	45,675,979	48,484,569	48,862,000
特定財源	16,875,462	15,658,049	16,177,237	16,210,000
* 特定財源の説明				
④ 施設使用料年間収入額	16,875,462	15,658,049	16,177,237	16,210,000
⑤ 年間減免措置額	135,360	135,360	57,960	60,000
⑥ 受益者負担割合	30.3%	28.6%	27.7%	27.6%
⑦ 活動一単位あたりコスト	33,479	29,459	32,957	
前年度比		88.0%	111.9%	
⑧ コストに関する補足説明	施設管理に伴う必要経費の増による			

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		0

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		0
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 94.2%	0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 103.3%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	ラオカヤビルを中心とする駅前地区のあり方を検討中のため、現状維持をしていくための修繕をしている状況である。	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	駅前地区やラオカヤビルの今後について方針付けが必要である。	
	改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
内容	予定事業費	円	予定時期

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	21206	ララオカヤ施設管理事業
-----	-------	-------------

1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
需用費	265,504		265,504	消耗品
役務費	67,391		67,391	火災保険料
委託料	8,210,160		8,210,160	
使用料及び賃借料	47,520		47,520	インターネット使用料
負担金補助及び交付金	49,991,231		49,991,231	共益費負担金
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	58,581,806	0	58,581,806	

2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.76		0.76人
合計	6,080,000	0	6,080,000円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
財産使用料	8,972,576		8,972,576	テナント使用料
テナント実費徴収金	7,176,989		7,176,989	
			0	
			0	
			0	
合計	16,149,565	0	16,149,565	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	48,512,241	0	48,512,241

施設の運営コスト計算シート

事業名	21206	ララオカヤ施設管理事業
-----	-------	-------------

1 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

2 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00人
合計	0	0	0円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0